



「人と社会に貢献できる商品を生み出し続けたい」と語る従業員の皆さん

創業106年の老舗が、難病治療に欠かせない医療機器を作る

そうなんです！この水枕は、水や氷を入れるだけで用意が簡単で、効果が長持ちします。ここ最近メディアでも取り上げられるなど見直され、昨年の売り上げは2倍になりました。ただ、水枕などの自社ブランド品は守り続けていますが、今では医療用ゴム製品とプラスチック製医療機器が大部分を占めています。

ゴム製水枕・湯たんぽを日本で初めて作ったのはうちなんですよ。湯たんぽもうちが初めて作りました。この「オンライン」印があらばうちの商品です。水枕の多くは病院に出荷していますが、今でも家庭で買われる方も多いです。昔は、熱が出たら水枕をしてもらつたものです。

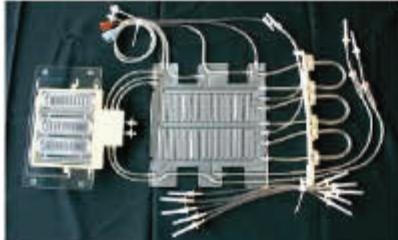
日本で初めて作った会社が奈良県にあつた！

創業106年の老舗が、難病治療に欠かせない医療機器を作る



この水枕、懐かしいですね！

その二つを扱っているのは、全国でも5社しかないとお聞きしましたが。



世界で初めて作られたカートリッジ式プラスチック製血液浄化用血液回路

が、これはす
いといけな
かつたんです
でにつない
ね。これまで
はチューブを
1本ずつ現
場でつながな
いといけな
が、これはず
でにつない

これが世界でもほとんどどこでしか作っていないという血液浄化用血液回路ですか！

これが世界でもほとんどどこでしか作っていないという血液浄化用血液回路ですか！

それは最後に、入社を希望する人へメッセージを

医療の分野は、ずっと事故がないといった長年のお信頼が重要になつてきますからね。ある程度限られた企業だけになるんだと思います。その信頼のお陰か、「カートリッジ式プラスチック製血液浄化用血液回路」の開発・製造販売が、経済産業省の新連携事業計画に認定されたんですよ。これは、肝不全や悪性リュウマチなど、難病を抱える人の血液を取り出して、病原を取り除き、またその血液を戻すという治療に使われるものです。

で一體化してあります。ですので、装着時間が短縮されたり、血液漏れが防止されたりするなど、医療過誤のリスクを減らすことができました。これからも人と社会に貢献できる商品を生み出していくたいですね！

何事にもチャレンジする意欲のある人を採用したいですね。ゴムについて基礎から学ぶ1年間の研修があるので、化学の基礎さえあれば、安心して働けますよ。



「開発には10年20年かかる。そして結果が出たときに一番やりがいを感じますね」と語る

代表取締役社長の大島勲さん

なにわ浪華ゴム工業 株式会社

所 大和高田市曾大根2-6-1

☎ 0745-52-5681

FAX 0745-23-1998

URL www.naniwa-rubber.co.jp/

明治39年(1906年)に大阪市浪速区で創業。戦災により本社工場が焼失し、現在の場所へ移転。200人いる従業員の内、90%が奈良県出身。創業当時から100年以上にもわたりゴム製水枕を作り続ける一方で、最先端の医療機器を製造するなど新しいことにも挑戦し続けている。